2008年度アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名［仙台市立岩切小学校］　　担当教諭［田村　直也］			
児童生徒の学年・クラス・参加人数：［　５年　３組３３名］［　　年　　組　　名］［　　年　　組　　名］			
実施期間：　　2008年　11月　～ 2009年　　３月			
交流：無・○有（国名[日本] 学校名[山形県川西町立犬川小学校] 学年[5] 担当教諭[鈴木　誠]）			
実施教科・時数 ・関連させたものをすべて ・総合学習では（英語活動環境）など具体的に	教科	単元名	時数
	総合	「米について考えよう」（環境） ※アートマイル制作に関わる部分のみです。交流学習や完成を祝う会などを含めていません。	１４
	図工	※調整時数で（絵画・鑑賞） ※漢字スキルや書き方をしながら平行して行っていたので、	１０

■作品について教えてください。

題（テーマ）	「未来のふるさとを描こう」
絵に込めたメッセージ	岩切小学区は開発の進む地域であり、生活の便利さと引き替えに自然が減っている。昔の岩切のよさや他地域のよさを見つめながら、残したい、そしてつくりあげたい未来のふるさとの姿を描いた。またこの風景にするために、環境への取り組みであるエコレンジャーの活動を取り入れながら自分たちにできること、みんなにしてほしいことをメッセージとして描いた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	１１	○アートマイルの概要を知る。 ・実践校の作品を見る。 ゲストティーチャー	・実際に絵を見て驚き。不安とともにやってみたいと感想をいうものが多数いた。	総合　１ 図工　１
情報収集	１１	○交流学習で分かったことの整理 中間発表の内容から比較表の作成	・自分たちの地域のよさ、課題を再認識した。まだまだ自然が多いが昔に比べると減っている。開発が進んでいる。環境への取り組みをしている。など	総合　４
テーマ検討	１２	○岩切小学校のテーマ決め 「未来のふるさとを描こう」 ・各自で下絵 ・グループの下絵 ・全体の下絵 ○犬川小との意見交換 テレビ会議 電子掲示板	・自分たちの地域に残したいものの各自描く ・その風景にするために自分たちにできることを考え、エコレンジャーの活動をグループごとに描く。 ・代表者が全体の下絵を考える。 ・境目の部分とグループの吹き出しの部分で意見の相違。自分たちの意図がなかなか伝わらず、とまどい、いらだち。 ・掲示板で意見。時間がないので、制作をスタートすることと、境目を合わせられたら合わせてくれるようにお願い。	総合　５ 図工　３
制作	１	○下絵描き（代表者） ○色塗り（グループごと全員） ○仕上げ（代表者）	・教室に三分の一にアートマイル制作コーナーを設置。絵の具の後始末も大変なので、朝から放課後まで交代交代で制作。漢字ス	総合　３ 図工　５

			キルや図工の制作など個別の学習中も気になる様子。	
鑑賞	３	○自分たちの絵 ○交流校の絵	・細かいパーツ１つ１つに解説。お互いのこだわりに驚き。 ・交流校から戻ってくる。完成作品に会心の笑顔。	総合　１ 図工　１

■学習目標と成果はどうでしょうか？（順位は重視したものから順に１～５まで記入してください。順位のつかないものも記入してください）

（５：とても身についた　４：身についた　３：どちらともいえない　２：あまり身につかなかった　１：まったく関連がなかった）

順位	つけたい力・指導目標	先生の手応え	そう感じた場面・理由
３	コミュニケーション・スキル	５・○４・３・２・１	テレビ会議や掲示板など相手を意識した姿が見られた。（特に司会、各グループリーダー）
２	情報活用能力（収集・発信）	５・○４・３・２・１	様々なメディアを活用し、発信することができた。
	人間関係をつくる(交流相手･学級内)	５・○４・３・２・１	交流相手とは不十分だったが、学級内では友達の持ち味を生かすようにお互いに働きかけていた。
	協同作業をする力（役割・段取り）	５・４・○３・２・１	学級内はできたが、相手校との分では不十分。
	異文化の理解	５・○４・３・２・１	テーマをそろえたことで、理解しやすかった。
４	自文化の理解・自分を見つめる	５・○４・３・２・１	相手の学校との比べることで、自分たちの地域を改めて見つめることができた。
５	表現力	５・○４・３・２・１	テレビ会議や番組作りなど、
１	学習を追究する意欲	５・○４・３・２・１	交流とアートマイルという目標が、児童のモチベーションを保つのに役だった。
	作品を鑑賞する力	５・○４・３・２・１	各自の絵、グループの絵、全体の絵のそれぞれの段階で考えたことで、力が高まっていった。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
・協同作業を伴う交流学習を初めて行いましたが、ゴールが設定でき、児童のモチベーションを保つためにもとても有意義でした。 ・絵を描くという作業は、どの児童にも分かりやすく、関わりをつくりやすかったのでよかったです。	・やはり時間の問題。カリキュラムのどこに位置づけるか。活動の時間をどう保証するか。総合の時間が減っていくので、より工夫していく必要があります。 ・海外の学校とのアートマイルも検討してみましたが、学年スタートの時期や長期休業日の時期がずれていて、年間のスケジュールを作るのが大変そうです。 また、時間の問題だけでなく、言葉や個人情報等の問題も配慮していく必要がありそうです。

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

○どのように交流相手を探すのか。
交流相手を探すのが難しいです。稲垣先生とのつながりでなんとかやっているという感じですが・・・。初めて取り組む人にとっては相手探しのサポートもしていただけると、取り組みへのハードルが下がると思います。

○児童へ残すものを。
絵が残らないというのは少し残念です。学校側ですることかもしれませんが、パネルや写真など残す手立てがあるとよいです。（こんなところの予算も取れなくなってきました。）